

# 森づくりの作業内容

## ○植林 春



地拵え（土地を荒廃させないような配慮をしつつ、苗木の植え付けを容易にし、その後の下刈をしやすくするための作業です。）が終了した林地に、苗木を1本ずつ丁寧に植え付けていきます。

## ○下刈り 初夏～夏



植栽した苗木が一定の大きさになるまでの間（植栽した年から6、7年間）、成長を邪魔する雑草木類の生育を押さえるため、雑草木類を刈り払います。カマや草刈機で刈っていきます。

## ○枝打ち 秋～冬



枝打ちは、質の良い木材を生産するために必要な仕事です。若い樹木は生長が旺盛ですから、枝や葉がたくさんついて、通風が悪くなったり、森林の中に太陽の光線が入らず、林地が暗くなります。また、立木そのものも太陽光線を十分に受けられなくなるので、余分な枝を切り落とすことが大事なのです。

## ○間伐 秋～冬



「間伐」は生長過程で過密となった森林に対して、本数を減らすために抜き切りをする作業のことです。「間伐」は健全で活力ある森林を育成するために必要な作業です。間伐によって林内に十分な陽光が入ると、下層植生が繁茂し、土砂の流出が抑制されます。

企業の方々には、どの木を切るかを定める（選木）作業を行って頂いています。